

「STEAM教育等の教科横断的な学習の推進」

教科横断的な学習の推進によって、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成する

STEAM教育とは？

教科横断的な教育のこと！

STEAMって何？

Science 科学
Technology 技術
Engineering 工学
Art アート
Mathematics 数学



STEAM教育とは科学・技術・工学・数学からなる「STEM」にアートを加えた5つの領域を対象にしたもので、知ること（探究）とつくること（創造）を結びつけ、各教科での学習を実社会での課題解決に活かしていくための**教科横断的な教育のこと**です。

教科横断的な教育とは何か？

それぞれの教科がバラバラに授業をしているはこれからの時代に**必要な能力が育たないので、各教科が足並みを揃えて授業をしていきましょう。**

各教科が全体的・総合的に子どもの能力を育てていくためには、まずは、それぞれの教科がどのような力を育むのか、**教科の本質をしっかりと把握していなければなりません。**それぞれの教科が育む力をしっかりと掴んでいて、各教科の中で子どもの力を伸ばしていけば、「教科等横断的な視点」の基本が実現していると言えるでしょう。

なぜ教科横断的な教育を推進するの？

社会の激しい変化により多様な課題が生じているから

AI（人工知能）やIoT（Internet of things）などの急速な技術の進展により社会が激しく変化し、多様な課題が生じている今日においては、これまでの**文系・理系といった枠にとられず、各教科等の学びを基盤としつつ、様々な情報を活用しながらそれを統合し、課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結びつけていく資質・能力の育成が求められます。**

実社会で生きる資質・能力の育成

学習指導要領においては、学習の基盤となる資質・能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等）や、**現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するため、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ることとされています。**

理学、工学、芸術、人文・社会科学等を横断した学際的なアプローチで**実社会の問題を発見し解決策を考えることを通じた主体的・対話的で深い学びの実現**をめざします。

推進していくためにどうすればいいの？

目標の設定と目標達成のための授業計画

- ①学校は子どもたちに身に付けてほしい（育成すべき）資質・能力を明確にし、目標を立てることが大切です！
- ②目標を実現するために教科間の連携を図るには、**教員が教科ごとの役割を考えながら、教える順序を工夫して授業計画を立てる必要があります。**

※くれぐれも各教科の「内容」だけでなく、**育成したい「資質・能力」でつなぐようにしましょう。**



カリキュラム・マネジメントを！

カリキュラム・マネジメントは全ての教職員の参加によって教育課程の編成・実施・診断・評価・改善を通して、学校の特色を創りあげていく営みです。

⇒授業から、学級経営から、校務分掌から、教育課程へのベクトルを生み出す。

⇒教職員全員の参加による、学校の特色づくり
⇒学校教育目標、**育成を目指す資質・能力**、学校のグランドデザイン等をとらえ、取組の方向性を共有する。

参考資料

『STEAM教育等の教科等横断的な学習の推進について』

詳しく知りたい方はこちら！



文部科学省

個別最適な学びとの関連

実社会の中から、自分でテーマ（課題）を設定し探究的な学習を進めていくことや、各教科等の学びを基盤としつつ様々な情報を活用しながらそれを統合し、課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結びつけていく資質・能力の育成をすることが個別最適な学習と関連しています。